

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ー分析から見てきた成果・課題と今後の取組についてー

区 名	生野区
学 校 名	巽小学校
学校長名	小島美幸

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・巽小学校では、第6学年 53名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

本校はこれまで国語・算数いずれも平均正答率が全国より10ポイント程度下回っていた。令和6年度は、国語13.7ポイント、算数11.4ポイント下回っていた。今年度は、国語5.8ポイント、算数7ポイント、理科8.1ポイント下回っている。

学力の定着は、まだまだ十分とは言えない。平均無答率を見ても、令和6年度は、国語は1.0ポイント、算数は0.3ポイント全国より上回っていた。まだ、今年度も、国語は1.6ポイント、算数は1.4ポイント、理科は3.2ポイント全国より上回っているが、あきらめずに問題に取り組む姿勢を、今後も育てていきたい。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕「話すこと・聞くこと」「読むこと」共に正答率が低かった。「書くこと」に関する項目は、昨年度の研究時より「視写」に力を入れてきた成果が出ている。「話すこと・聞くこと」に関する項目が弱いのは、問題文が的確に読めていないのか、長文を最後まで読み切れていないのではないかと考えられる。

〔算数〕「測定」の正答率が低かった。また、「変化と関係」について、全国との差が縮まっている。引き続き、教材・教具の工夫やICT機器を活用し、児童が意欲的に取り組み、主体的に考える力を育成していく。

〔理科〕「エネルギーを柱とする領域」「地球を柱とする領域」の正答率が低かった。観察や実験を通して体験しやすい領域は、知識として身に付きやすいが、体験を伴いにくい単元は、いかにして教材・教具や指導法を工夫するかが今後の課題と考える。

質問調査より

「児童質問紙」の結果から見ると、(5)「自分には、よいところがあると思いますか」の問いに対して、肯定的な回答は90.2%で、大阪市・全国平均共に上回っている。ペア学年集会や体験活動を大切にすることで、自尊感情を高めることができている。

また、(8)「人が困っているときは、進んで助けていますか」の問いに対しては、最も肯定的な回答は、60.8%で大阪市・全国平均共に上回っている。地域行事や地域との交流が増え、工夫を凝らした児童会活動や学校行事ができるようになってきた成果である。今後も、子どもたち一人ひとりに、「学校や地域の行事が楽しみ」と思えるような取り組みを増やしていきたい。

今後の取組(アクションプラン)

「全国学力・学習状況調査」の学力に関する結果は、全国や大阪市平均を下回っているが、実施してきた取組の効果は少しずつ表れていると考える。昨年度に引き続き、「ICTを活用とした教育と主体的・対話的な深い学びの推進」「学習教材データ配信の利用」「図書館活用事業の推進」の取り組みを継続し、さらなる充実をめざしている。

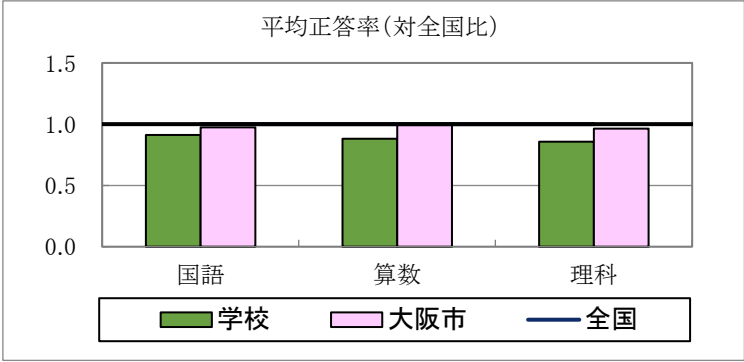
国語科において、大阪市学力経年調査を見ると、国語の力は持っているが、正答数分布から考えると、学力の2分化が見られる。低位層の学力を上げるために、「視写」と「音読」の継続学習が有効であるという指導助言をもとに、今年度も進めている。

学校全体として、教員の指導力の向上や放課後学習時間の確保、ICT機器の活用法の工夫・充実など、様々な手立てを講じることで、児童の基礎的・基本的な知識や技能の定着に努めていく。

【 全体の概要 】

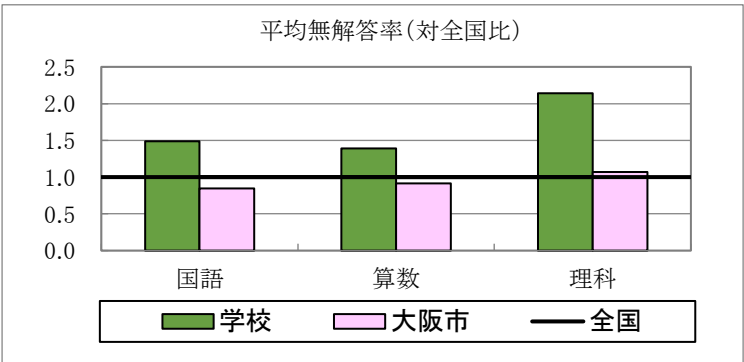
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	61	51	49
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



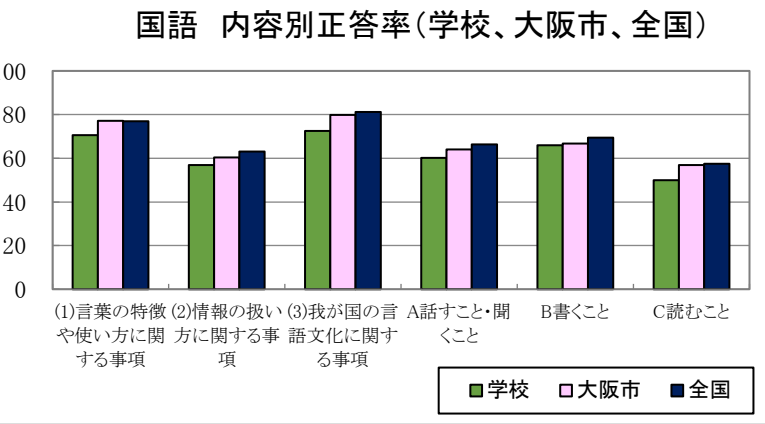
平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	4.9	5.0	6.0
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



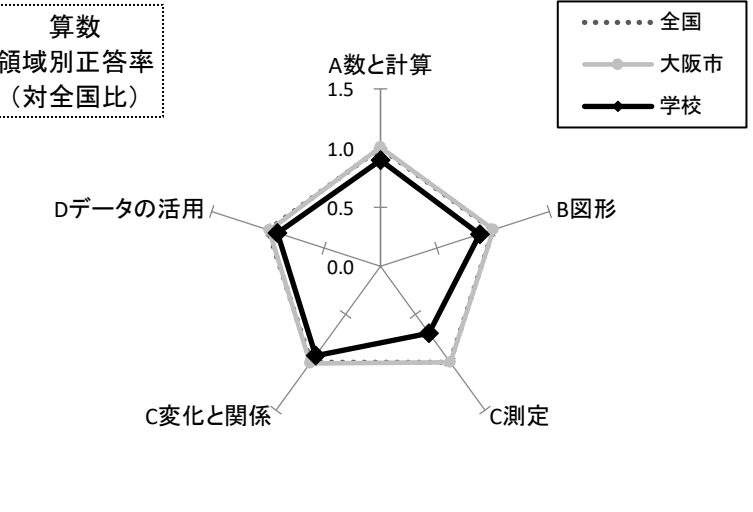
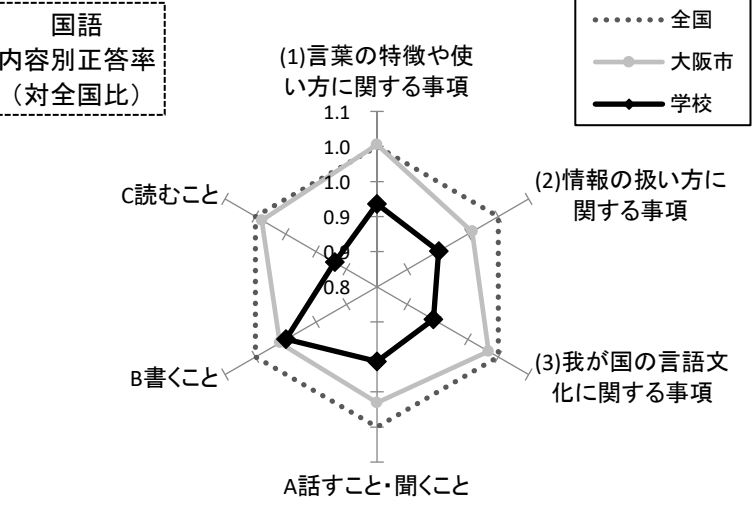
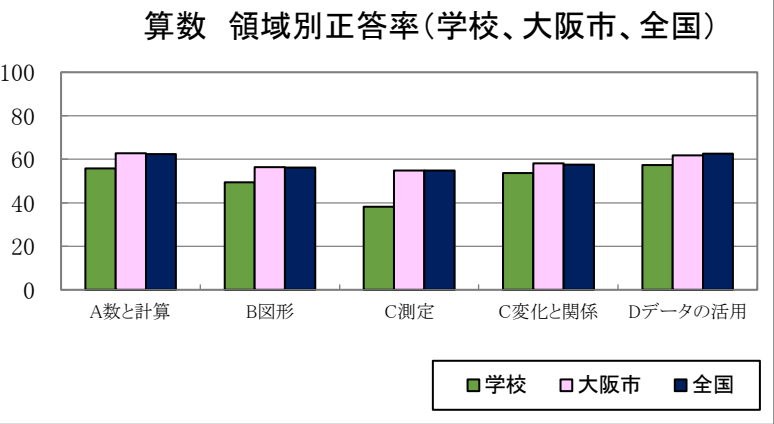
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	70.6	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	56.9	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	72.5	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	60.1	64.0	66.3
B 書くこと	3	66.0	66.7	69.5
C 読むこと	4	50.0	56.9	57.5



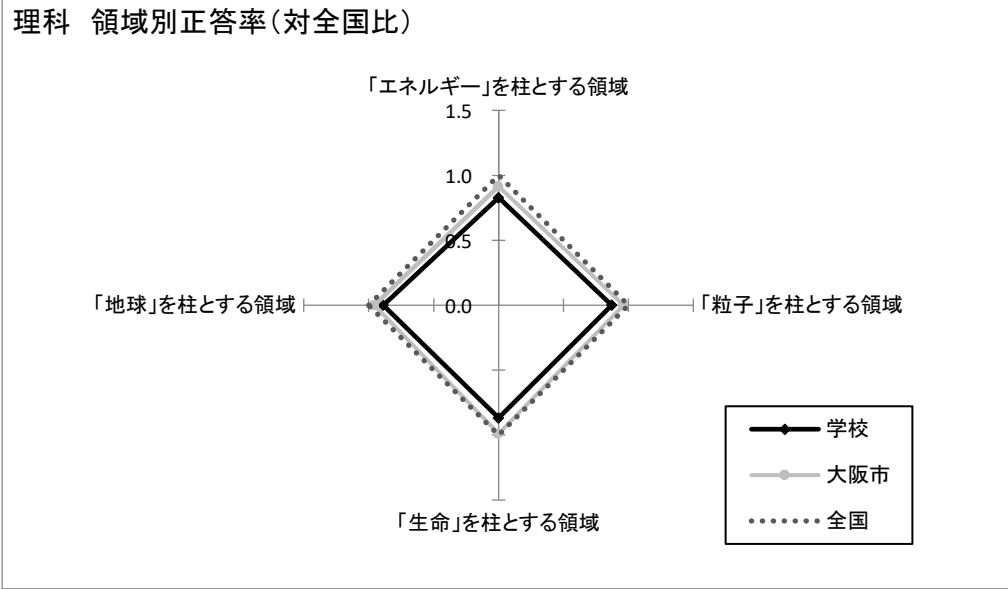
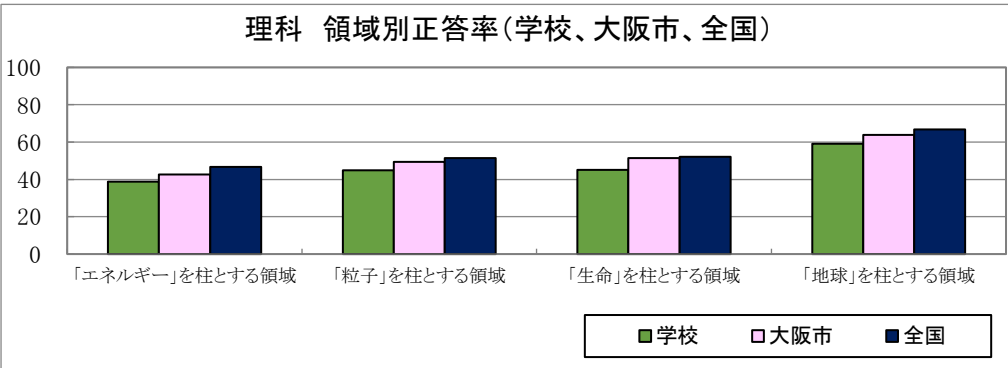
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	55.9	62.7	62.3
B 図形	4	49.5	56.4	56.2
C 測定	2	38.2	54.9	54.8
C 変化と関係	3	53.6	58.2	57.5
D データの活用	5	57.3	61.9	62.6



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域		対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	38.7	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	44.8	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	45.1	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	59.2	63.8	66.7



児童質問より

質問番号
質問事項

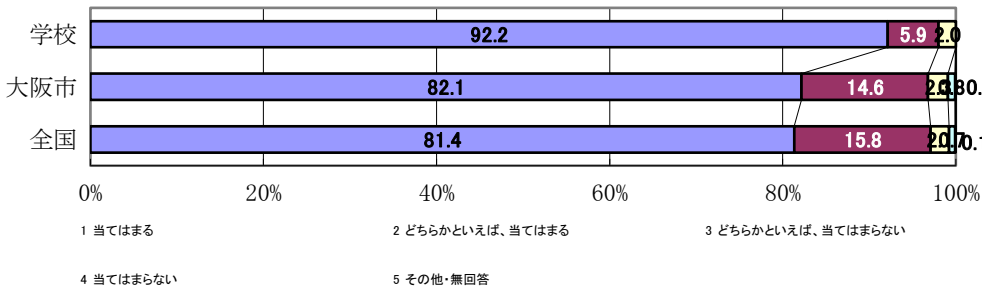
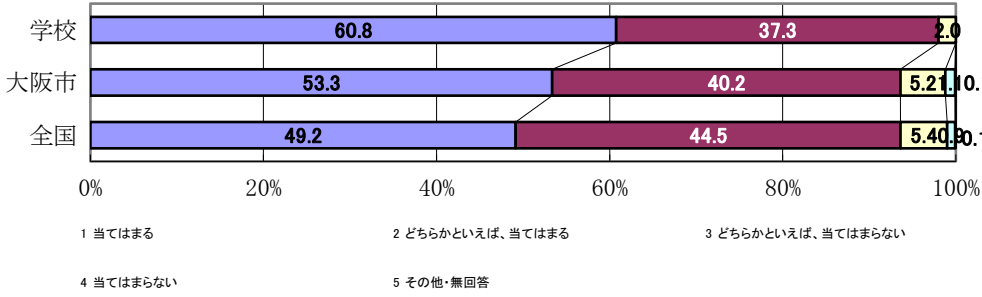
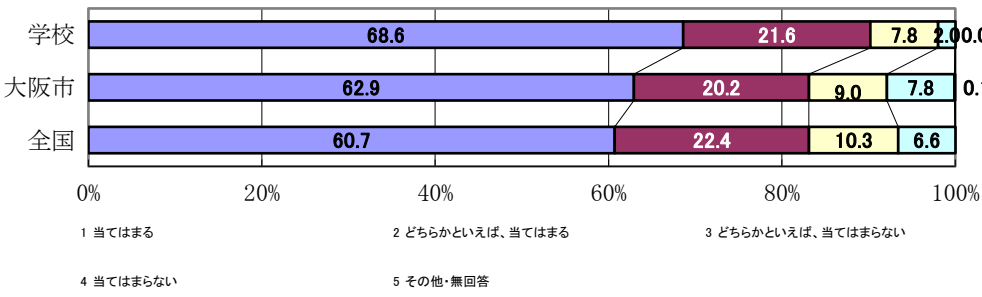
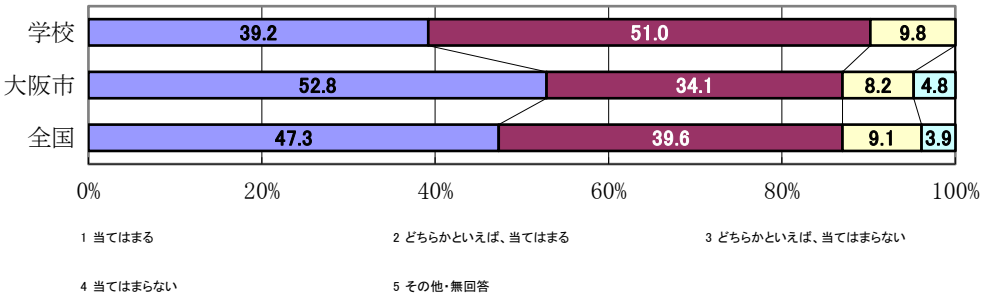
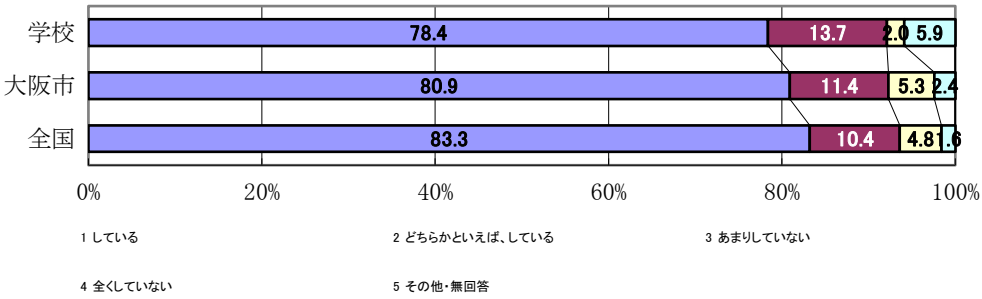
1
朝食を毎日食べていますか

5
自分には、よいところがあると思いますか

7
将来の夢や目標を持っていますか

8
人が困っているときは、進んで助けていますか

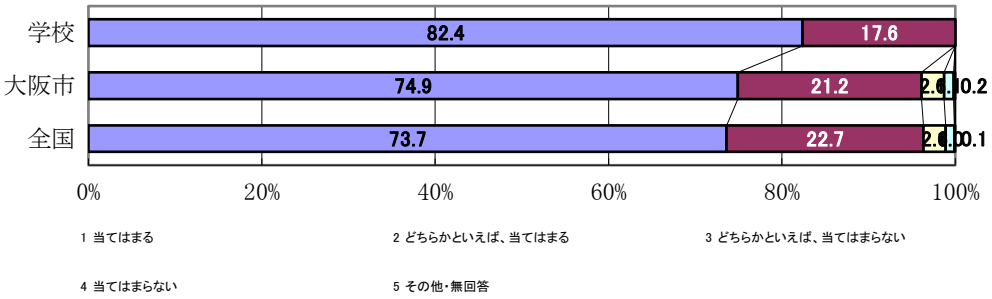
9
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



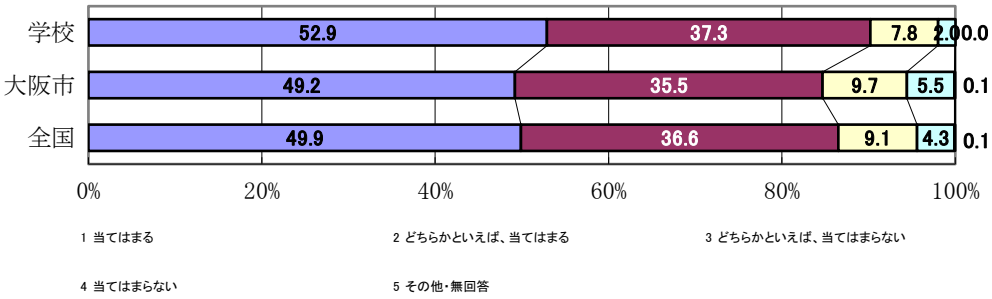
児童質問より

質問番号
質問事項

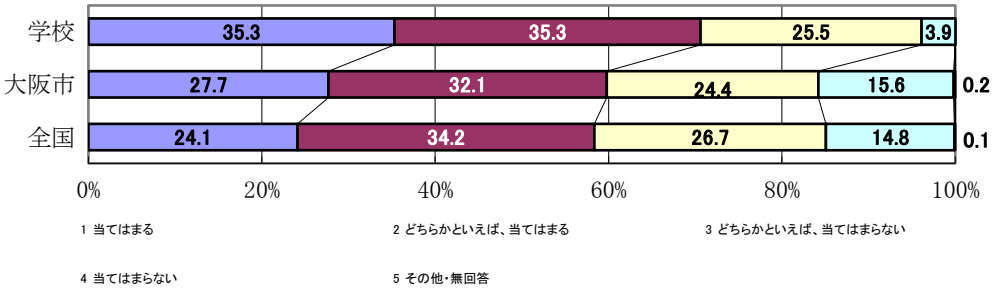
11
人の役に立つ人間になりたい と思いますか



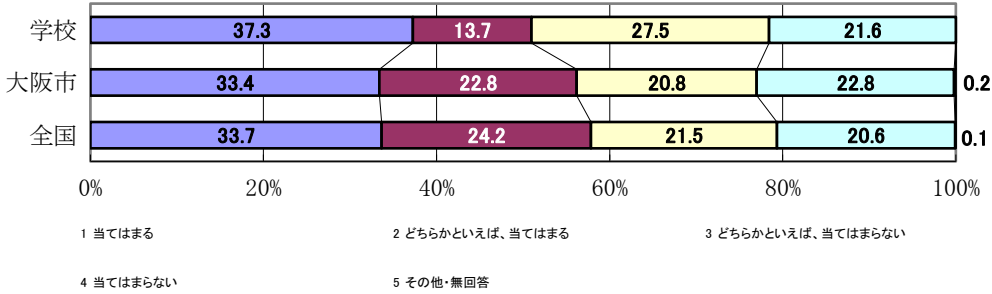
12
学校に行くのは楽しいと思 いますか



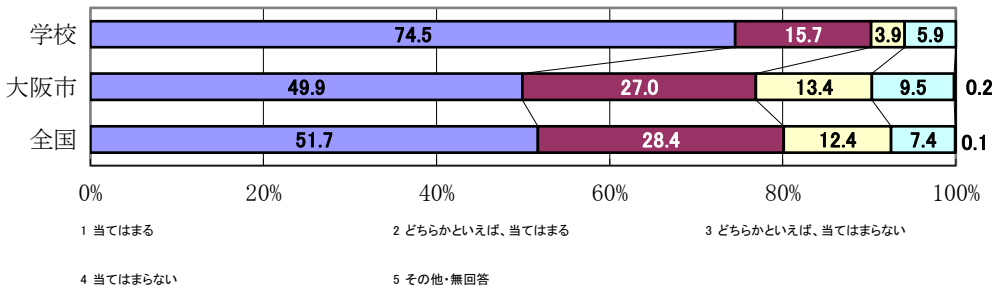
45
国語の勉強は好きですか



53
算数の勉強は好きですか



61
理科の勉強は好きですか

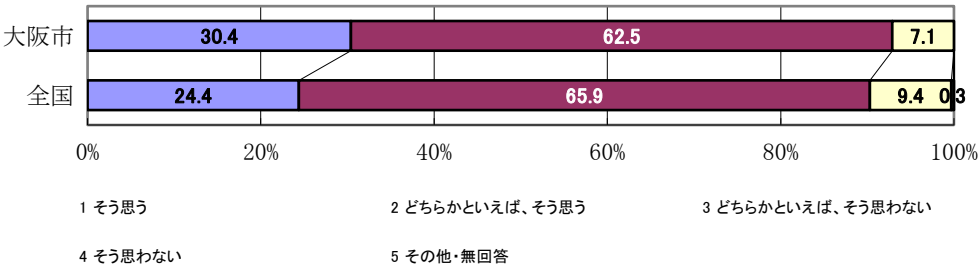


学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

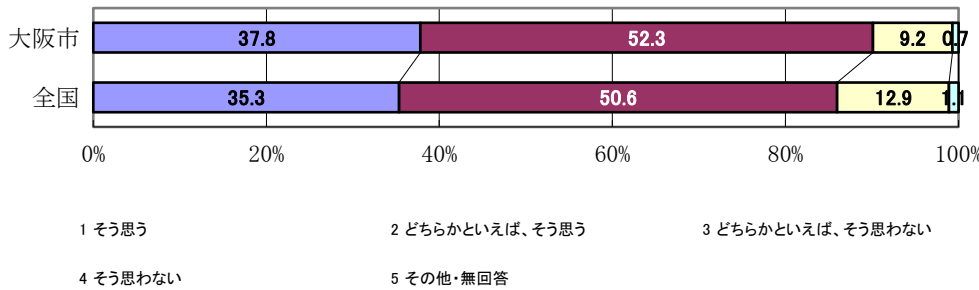
質問番号
質問事項
7
調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



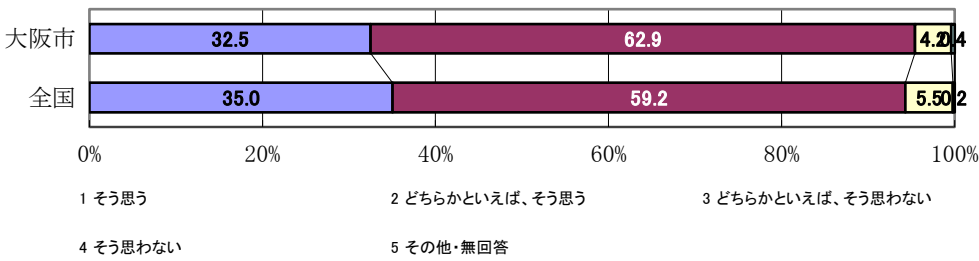
8
調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



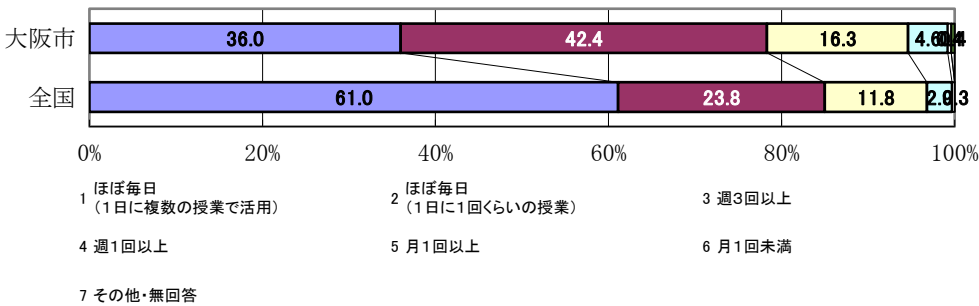
28
調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



58
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「週3回以上」を選択



80
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか

学校 「よく行った」を選択

